

## 第1回 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 開催セレモニー 知事あいさつ

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

第32軍司令部壕保存・公開検討委員会第1回会合の開催にあたり、御挨拶を申し上げます。

第32軍司令部壕は、住民を巻き込んだ熾烈な沖縄戦の軍事的中枢施設であり、戦争の不条理さ、残酷さとともに、平和の尊さを伝える上で、重要な戦争遺跡であります。

令和元年10月、県民の心の拠り所であった首里城が焼失してから、その地下にある第32軍司令部壕の保存・公開を求める様々な県民の思いが寄せられています。

壕内は岩塊の崩落、酸素の欠乏、豪雨時の出水などが発生しており、安全確保の観点から、現状においては一般公開は困難な状況にあります。

しかしながら、沖縄県としましては、皆様の思いを受け止め、第32軍司令部壕が果たした役割等の歴史的価値を次世代へ継承するため、第32軍司令部壕保存・公開検討委員会を設置し、多角的な視点から、同壕の保存・公開の可能性や平和発信・継承のあり方等について議論していただきたいと思いますと考えております。

また、検討委員会での議論と並行して、同壕に関する文献や証言等を収集・分析し、壕における戦没者の実態等について、史実の解明に取り組み、その成果を共有するなど連携してまいります。

将来的には、同壕の存在をとおして、沖縄戦の実相を次世代に継承し、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信する施策に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、委員の皆様におかれましては、公私ともに御多忙の中、本県の平和行政にお力添えをいただきますことに心から感謝を申し上げ、御挨拶といたします。

いっぺー にふえーでーびる。

令和3年1月22日

沖縄県知事 玉城 デニー